

2019年5月期 第2四半期決算概況

証券コード：3501
(東証一部上場)



目次

■ 表紙	01	■ 2019年5月期 連結見通し	13
■ 目次	02	■ 2019年5月期 事業セグメント別見通し	14
■ 2019年5月期第2四半期 (2018/6～2018/11)連結業績	03	■ 株主還元について	15
■ 連結業績の事業セグメント別内訳	05	■ 第5次中期3カ年経営計画「2020」	16
■ インテリア事業	06	■ ボイルカーテン「スマートヴェール」で グッドデザイン賞を受賞	18
■ 自動車・車両内装事業	07	■ 鉄道車両向け「ハイブリッドクッション 材」の開発	19
■ 機能資材事業	09	■ 航空機カーペット事業 JIS Q 9100 認証を取得	20
■ 連結バランスシート	10		
■ 設備投資・減価償却費	11		
■ 有利子負債	12		

2019年5月期第2四半期 (2018/6～2018/11)連結業績

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減		期初計画	期初計画比増減	
			(率)	(額)		(率)	(額)
売上高	49,309	49,195	+0.2%	+113	48,500	+1.7%	+809
営業利益	1,351	1,332	+1.4%	+18	1,500	△9.9%	△148
営業利益率	2.7%	2.7%			3.1%		
経常利益	1,350	1,514	△10.9%	△164	1,600	△15.6%	△249
経常利益率	2.7%	3.1%			3.3%		
四半期純利益	493	872	△43.4%	△378	850	△41.9%	△356
四半期純利益率	1.0%	1.8%			1.8%		

為替レート	当第2四半期	前年同期
(USD/JPY)	110.71	111.30

※ 当資料の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を表している。

2019年5月期第2四半期 (2018/6～2018/11)連結業績

売上高 **493**億 9百万円

前年同期 491億95百万円 計画 485億円

営業利益 **13**億51百万円

前年同期 13億32百万円 計画 15億円

経常利益 **13**億50百万円

前年同期 15億14百万円 計画 16億円

親会社株主に帰属する
四半期純利益 **4**億93百万円

前年同期 8億72百万円 計画 8億50百万円

外部環境

■ 国内景気

災害の影響が一部みられたものの、堅調な企業収益および雇用、所得環境に支えられ、景気は底堅く推移した。

■ 海外景気

米国を中心に回復基調が続いたが、米中貿易摩擦等を背景に、先行きに対する警戒感が強まった。

連結業績の事業セグメント別内訳

(単位:百万円)

売上高	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減	
			(率)	(額)
インテリア	16,631	17,027	△2.3%	△395
自動車・車両内装	29,845	29,501	+1.2%	+344
機能資材	2,760	2,592	+6.5%	+167
その他	71	74	△3.8%	△2
合計	49,309	49,195	+0.2%	+113

営業利益	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減	
			(率)	(額)
インテリア	△29	124	-	△154
自動車・車両内装	1,851	1,669	+10.9%	+182
機能資材	195	242	△19.1%	△46
その他	43	37	+13.9%	+5
調整額	△709	△741	-	+31
合計	1,351	1,332	+1.4%	+18

インテリア事業

カーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比(率)	前年同期比(額)
売上高	16,631	17,027	△2.3%	△395
営業利益	△29	124	-	△154

■ 業務用カーペット

インバウンド効果により、ホテルや商業施設向けの新築およびリニューアル案件での受注が伸長した。一方、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」は、国内では大型案件もあり売上は前年同期を上回ったが、海外輸出は台風の影響でコンテナの手配が困難となり、出荷が遅れ、売上は前年同期を下回った。

■ 一般家庭向けカーペット、ラグ・マット

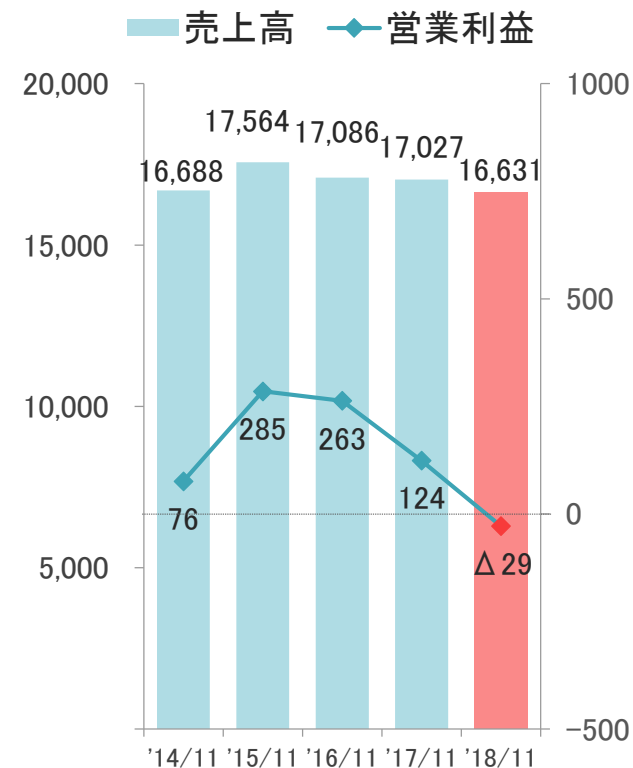
市場環境の低迷が続き、売上は前年同期を下回った。

■ カーテン

医療・福祉・教育施設向けのコントラクトカーテン「Face」は大型案件もあり、好調に推移したが、一般家庭向けは低調となり、売上は前年同期を下回った。

■ 壁紙

新築・リフォーム向けの「ルノンホーム」や、機能性壁紙「ルノンリフォームプロ」が堅調に推移したが、量産タイプの「ルノン・マークII」が伸び悩み、売上は前年同期を下回った。



自動車・車両内装事業

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比(率)	前年同期比(額)
売上高	29,845	29,501	+1.2%	+344
営業利益	1,851	1,669	+10.9%	+182

自動車内装事業 フロアカーペット、シート地、天井表皮材等、 自動車内装材をトータルで販売

■ 国内

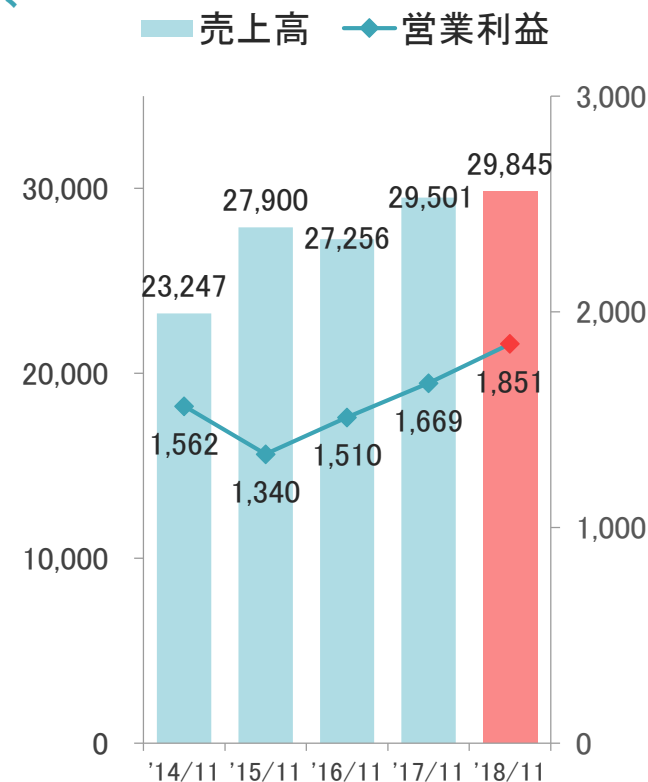
「平成30年7月豪雨」の影響に加え、新規商材の販売拠点を海外に切り替えたこと等から、売上、営業利益ともに前年同期に届かなかった。

■ 海外

売上、営業利益ともに前年同期を上回った。米中貿易摩擦の影響が懸念されるなか、アジアでは、日系自動車メーカーのシェアが拡大している中国や、生産台数が回復基調のタイで、売上を順調に伸ばした。北米では米国子会社Suminoe Textile of America Corporationの収益改善が進み、メキシコでも売上が好調に推移した。

自動車内装事業全体

売上、営業利益ともに前年同期を上回った。



自動車・車両内装事業

車両内装事業

鉄道・バス・航空機・船舶にシート地やカーペット、リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等を販売

■ 鉄道向け

JRおよび私鉄の新車案件やリニューアル改造工事で内装材の受注が堅調に推移し、売上は前年同期並みとなった。

■ バス向け

前期に引き続き新車および既存車の内装材需要が低調に推移し、売上は前年同期を下回った。

車両内装事業全体

売上、営業利益ともに前年同期を下回った。

機能資材事業

機能性資材、ホットカーペット、独自消臭加工技術によるフィルター等の販売等、
新たな分野で事業を展開

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比(率)	前年同期比(額)
売上高	2,760	2,592	+6.5%	+167
営業利益	195	242	△19.1%	△46

■ 消臭・フィルター関連

新規受注の獲得と暖房機向け消臭フィルターが好調に推移したことにより増収増益となった。

■ ホットカーペット

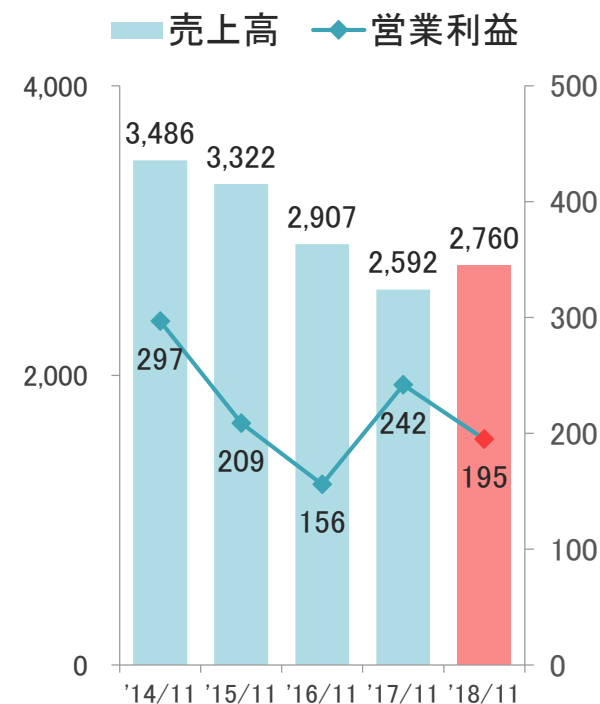
受注数を伸ばしたものの製品原価の上昇により増収減益となった。

■ 建築用ルーフィング材および土木用遮水シート材

好調に推移した。

■ ダストマット向けポリエステル長繊維「スミロン®」、 浴室向け床材

前年同期に届かず減収減益となった。



連結バランスシート

(単位:百万円)

	当第2四半期	前期末
資産	89,324	92,181
現預金	4,851	9,531
売上債権 ※電子記録債権含む	25,413	23,056
たな卸資産	16,786	16,634
その他の流動資産	2,944	3,547
有・無形固定資産	28,585	28,224
投資その他の資産	10,742	11,187
負債	52,542	53,639
仕入債務 ※電子記録債務含む	19,420	19,354
短期借入金	13,652	13,588
その他流動負債	4,371	4,929
長期借入金 ※社債含む	5,296	5,808
その他固定負債	9,801	9,959
純資産	36,781	38,541
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	11,052	10,822
自己株式	△ 1,819	△ 364
その他有価証券評価差額金	2,528	3,154
土地再評価差額金	7,797	7,797
その他評価・換算差額	476	441
非支配株主持分	4,539	4,484

現預金

売上債権の増加や借入金の返済、自己株式の買付等により、前期末比46億79百万円減の48億51百万円となった。

売上債権

インテリアやホットカーペット事業等の季節性要因により、前期末比23億56百万円増の254億13百万円となった。

借入金(短期・長期・社債)

返済を進め、前期末比4億46百万円減の189億49百万円となった。

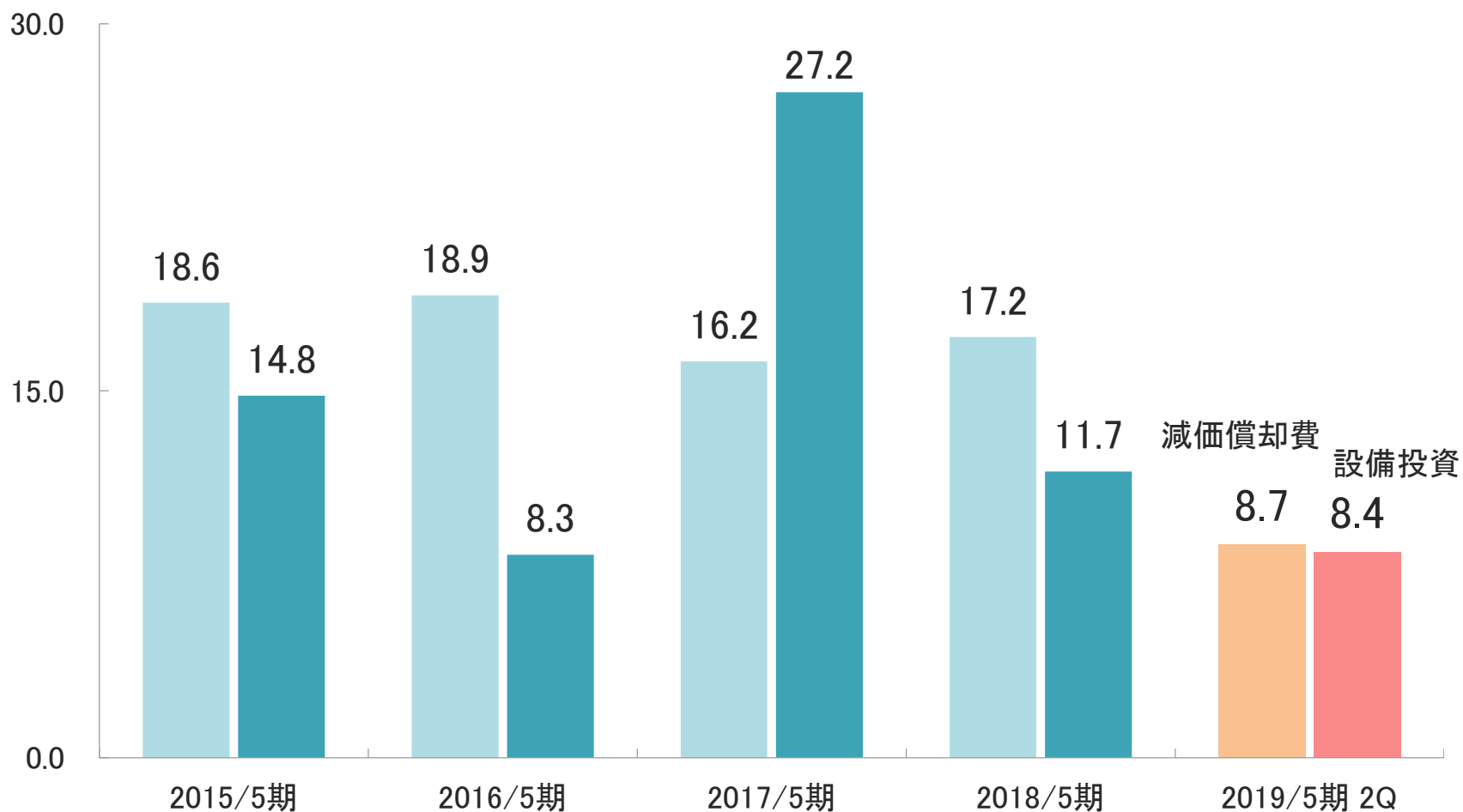
自己株式

自己株式買付を行ったため、前期末比14億54百万円減の△18億19百万円となった。

設備投資・減価償却費

(単位:億円)

■ 減価償却費 ■ 設備投資

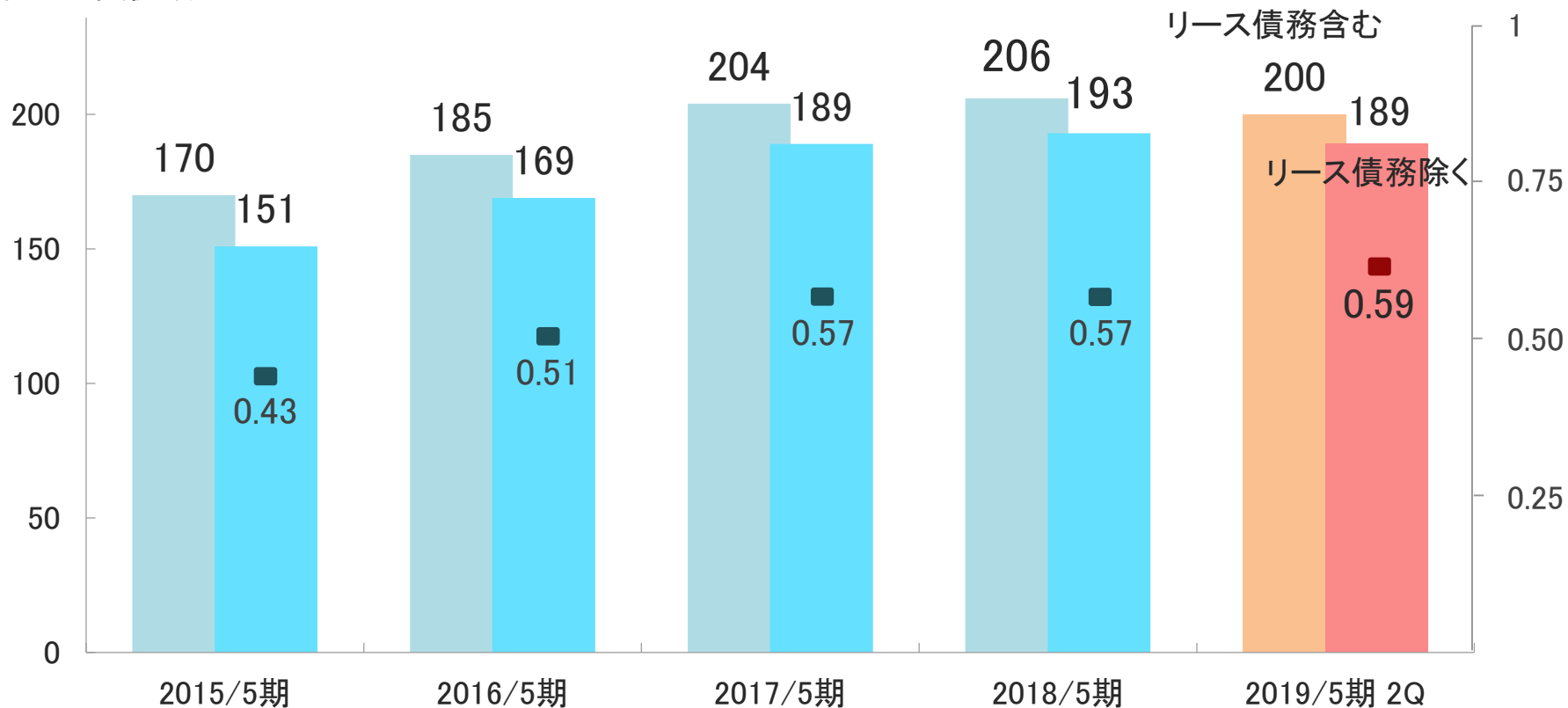


有利子負債

■ リース債務含む ■ リース債務除く ■ DEレシオ

(単位:億円)
有利子負債額

(単位:倍)
DEレシオ



※DEレシオ... $\frac{\text{有利子負債(リース債務除く)}}{\text{純資産(非支配株主持分除く)}}$

2019年5月期 連結見通し

売上高 975 億円

(2018年5月期 978億72百万円)

営業利益 31 億円

(" 22億47百万円)

経常利益 33.5 億円

(" 23億58百万円)

親会社株主に帰属する

当期純利益 19 億円

(" 10億83百万円)

当第2四半期の売上は2018年7月13日に発表した連結業績予想を上回ったものの、利益面では相次ぐ天災による影響に加え、持分法による投資損失や為替差損の発生等により下回った。

なお、通期見通しは、当初の連結業績予想から変更なし。

2019年5月期 事業セグメント別見通し

(単位:百万円)

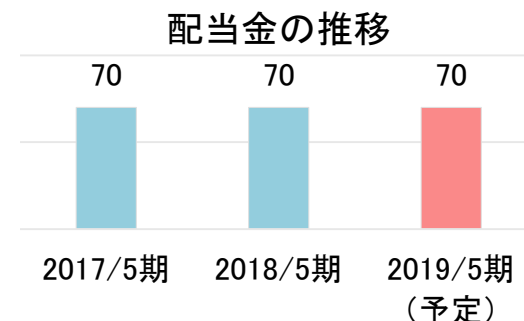
売上高		2019年5月期	2018年5月期	前期比増減	
				(率)	(額)
	インテリア	35,450	34,329	+3.3%	+1,120
	自動車・車両内装	58,140	59,758	△2.7%	△1,618
	機能資材	3,780	3,647	+3.6%	+132
	その他	130	137	△5.6%	△7
	合計	97,500	97,872	△0.4%	△372

営業利益		2019年5月期	2018年5月期	前期比増減	
				(率)	(額)
	インテリア	210	33	+531.0%	+176
	自動車・車両内装	4,180	3,331	+25.5%	+848
	機能資材	140	176	△20.7%	△36
	その他	80	68	+17.4%	+11
	調整額	△1,510	△1,361	-	△148
	合計	3,100	2,247	+37.9%	+852

株主還元について

■ 配当金について

- 2019年5月期は、中間、期末ともに1株当たり35円、合わせて年間70円を予定。



※株式併合後を基準に算出した数値を表示。

■ 自己株式の取得について

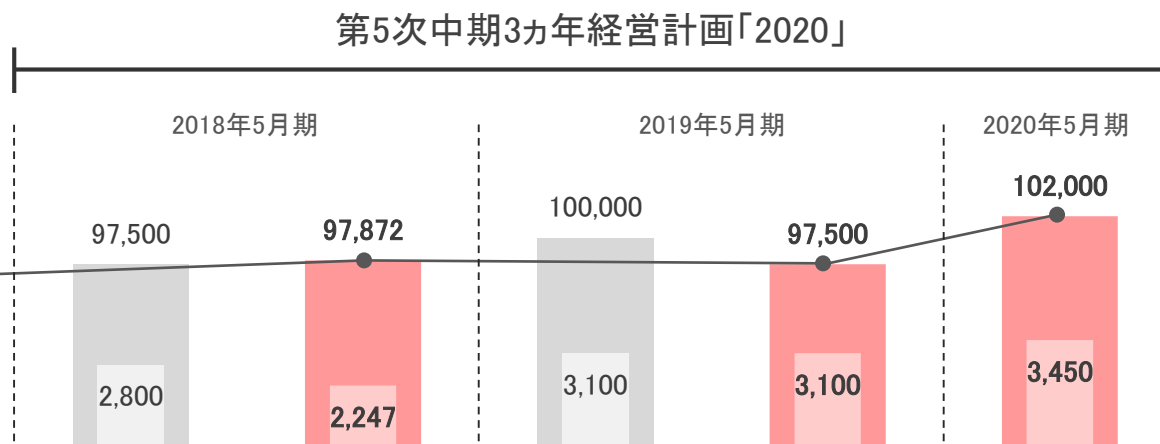
- 2019年1月11日開催の取締役会において、自己株式取得について決議。

取得の理由	経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主価値の向上を図るため
株式の総数	600,000株(上限) (発行株式総数(自己株式を除く)に対する割合 8.46%)
取得価額の総額	1,800,000,000円(上限)
取得期間	2019年1月15日～2020年1月14日
取得方法	自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を含む市場買付け

第5次中期3カ年経営計画「2020」

2017年6月にスタートした第5次中期3カ年経営計画「2020」では、「**企業ガバナンスの再構築**」と「**事業の成長**」という2つのテーマのもと、諸施策に取り組んでおります。

○連結数値目標



	2017年5月期	2018年5月期		2019年5月期		2020年5月期
	実績	策定時計画	実績	策定時計画	期初計画	策定時計画
売上高	96,038	97,500	97,872	100,000	97,500	102,000
前期比	98.5%	101.5%	101.9%	102.6%	99.6%	102.0%
営業利益	1,297	2,800	2,247	3,100	3,100	3,450
営業利益率	1.4%	2.9%	2.3%	3.1%	3.2%	3.4%
経常利益	1,364	2,950	2,358	3,350	3,350	3,750
親会社株主に帰属する 当期純利益	26	1,500	1,083	1,900	1,900	2,200
ROE	0.1%	4.5%	3.2%	5.5%	5.5%	6.0%

第5次中期3カ年経営計画「2020」

取り組んでいる課題

1. コンプライアンス遵守ならびに管理体制の見直し

経営幹部と従業員が情報共有し、双方向コミュニケーションを図りながら、一体となって諸問題の解決にあたるため、以下の施策に取り組んでおります。

- 全社統一フォーマットによる「週報」・「月報」の報告義務化
- 経営幹部による「歩き回る経営」

2. 基幹システムの再構築

収支や在庫をタイムリーに把握、経営判断に活かし、また、効率的かつ効果的なモニタリングを行うため、グローバルで基幹システムの再構築を進めております。

3. 事業の拡大

お客様のニーズに柔軟かつタイムリーに応えるべく、以下の3つのテーマのもと、果敢にチャレンジしてまいります。

- 取扱い商材の拡大
- グローバル化の強化
- 高付加価値商材の開発・販売

ボイルカーテン「スマートヴェール」でグッドデザイン賞を受賞

高付加価値商材の開発・販売

夏場に光を遮り、冬場には光を採り入れるカーテン

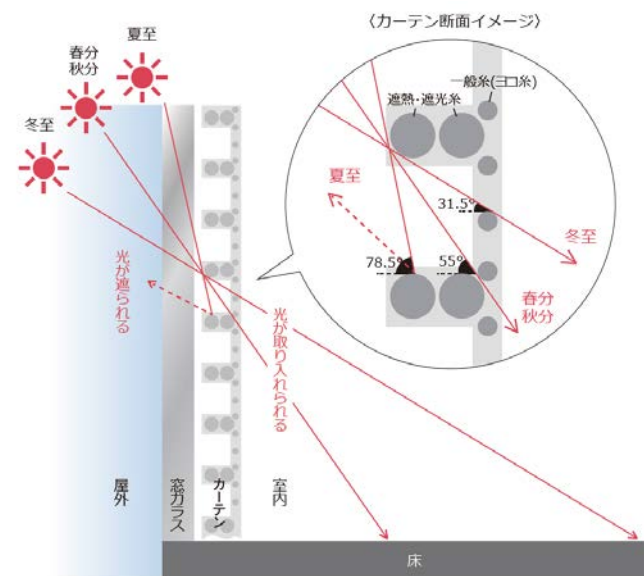
夏至の場合の対比イメージ



※撮影用閃光装置(ストロボ)を使用して太陽光の採光角度を再現し、固定カメラで撮影しています



季節ごとに変化する太陽の角度に対し、生地に織り込まれた太い糸が「ひさし」の役目となり、夏場には光を遮り、冬場には光を採り入れます。[特許出願中]
(「U Life®カーテン見本帳 vol.9」掲載商品)



鉄道車両向け「ハイブリッドクッション材」の開発

高付加価値商材の開発・販売

鉄道車両用シートクッション材「スミキューブ®」に、新樹脂バネ材「スミキューブエア」を組み合わせたハイブリッドクッション材を開発。

- さらに快適な座り心地に
- 高い耐久性と安全性
- 優れたリサイクル性

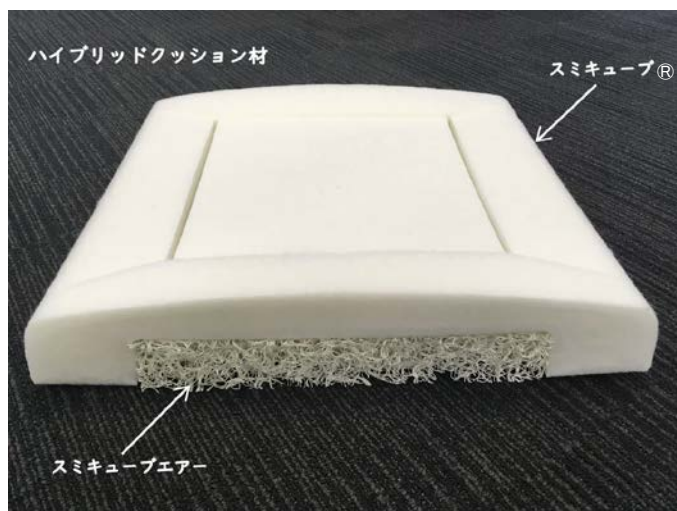


埼玉新都市交通

以下の鉄道車両に採用が決定しています

- 埼玉新都市交通2020系、2000系(リニューアル)
- 広島高速交通(アストラムライン)
- 西日本鉄道6050形改造

「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」



航空機カーペット事業 JIS Q 9100 認証を取得

航空宇宙分野の品質マネジメントシステム JIS Q 9100とは…

- ISO9001をベースに航空宇宙・防衛産業の要求事項が追加された、品質マネジメントシステムの国際規格。



■ 認証取得によるメリット

- 品質レベルの向上
- 顧客からの信頼性獲得
- 国内から海外へのアピール

■ 今後の取り組み

より一層の品質向上に努め、国内のみならず、海外を含めた顧客獲得を目指してまいります。

■ 当資料の将来見通しに関するリスク情報

当資料における当社の今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。